



「戦争は心の中で生まれるものだから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」

芦屋ユネスコ協会  
！世界遺産見学バスツアー第6弾！

## 天龍寺・上賀茂神社へのバス旅行

4月10日・月曜日（随行記）

恒例芦屋ユネスコ協会主催の春のバスツアーは、京都天龍寺と上賀茂神社を訪ねました。当日は生憎の雨でしたが、雨の桜満開の京都も風情のあるものでした。バスには芦屋から44名、京都から1名加わり、総勢45名のツアーとなりました。

今回の狙いは、お寺や神社はどんな目的で造営されたのか、実物を見ながら考えようとするものでした。その為、歴史学部の大学院学生（博士課程）に専門的立場から解説を頂きました。

昼食は天龍寺境内の料亭“篩月”で般若湯“を頂きながら精進料理を賞味しました。

さて、私達が知っている天龍寺は、嵐山に有る風光明媚な観光の中心です。然し本当の目的は全く異なった目的で造営されたようです。天龍寺は約七百数十年前、時の執権足利尊氏が、無念の中に世を去った後醍醐天皇の冥福を祈るため、第七回忌法要に際し、落慶法要が営まれました。更にその目的は、足利幕府が公家や寺社との友好関係を保つ必要に迫られて創建したもので、足利家と幕府の地位安定の為でした。造営資金の乏しい幕府は有名な天龍寺船を建造し、外国との貿易で得た利益を充当したのは良く知られて居る通りです。寺の創建後は、臨済宗天龍寺派の総本山として今日に至って居ります。また総本山は外国、殊に中国文化、文明の窓口として機能し、その見識、学識の高さから、中国語を話せる人材が多く、同時の外務省をも兼ねたようです。一方、学問の中心としても機能し、寺内の大講堂を中心に、大教育組織を持つことになりました。寺の末寺の坊様が、近所の子供達に読み書きを教えて生計を立てて居りました。これが寺子屋の起源となりました。ユネスコが主力を注いでいる寺子屋はこのころから始まっていたのです。午後は、上賀茂神社を訪れました。上賀茂神社は雷（いかづち）の神であります。桓武天皇が平安京に都を移して以来、雷（いかづち）の神の神威により、皇城鎮護の神、都の鬼門の守り神、総地主の神として崇められ、今日でも建築関係等の方除祈願が多く、特に最近では、明神・落雷除・電気産業の守護神として広く信仰されています。昔の人達は雷が電気である事は知らなかったのですが、それを神としたのは、現代人が科学を信じるのと同じではないでしょうか。

帰路は、4時頃京都を離れ、全員無事芦屋に帰って参りました。

（副会長・交流部会長：森隆資）

## 《世界遺産見学バスツアー》

### 恒例、立命館大学大学院博士課程所属の歴史学専門家の解説

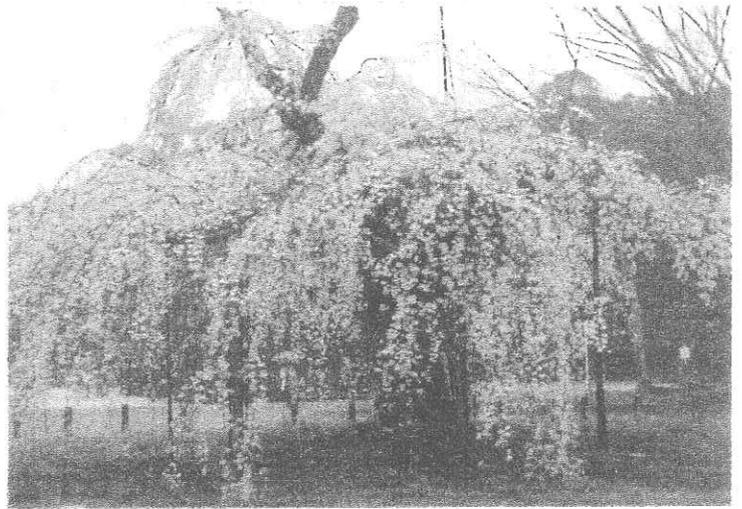
#### 《天龍寺と足利将軍家》

天龍寺のはじまりは、七百数年も前に遡る。後醍醐天皇の七回忌にあたる、貞和元年(1345)に落慶法要が営まれて、ここに現在まで至る天龍寺の歴史が始まる。臨済宗天龍寺派の総本山であり、現在でも百一の所属寺院を擁して、境内に九、境外には三の計十二の塔頭を持つ大寺院である。室町時代には『五山十刹』と呼ばれる禅寺の格式を定める制度があったが、天龍寺は五山の中でも上位に列せられ、非常に格の高い寺とされていた。

さて、歴史の中では、足利尊氏が夢窓疎石の勧めを受けて、後醍醐天皇の冥福を祈るために天龍寺を創建したと言われている。しかし当時の記録を見ると、実は尊氏の弟・直義と夢窓疎石の意思が強く反映したことが伺える。

天龍寺造営の話が出た当時は南北朝の争いの最中であり、幕府は公家や社寺と友好関係を保つ必要に迫られていた。天龍寺を造営にあたっては、直義と夢窓疎石が朝廷に意見を求めるなど、各所との折衝を積極的に行っている。公家や社寺の意見を聞くという態度を幕府が見せることにより、幕府方に取り込もうと画策していたのである。つまり、天龍寺は直義と夢窓疎石が、足利家と幕府の地位安定を狙って造営させたのである。しかし、後の時代に直義の功績は忘れられ、後醍醐天皇の怨霊を尊氏が恐れたため造営したという話だけが伝わるようになったのである。

担当: 萩原由香里 立命館大学大学院、先端総合学術研究科・一貫制博士課程所属。神林研究室(美学・芸術学)助手。



#### 《平安京と上賀茂神社》

上賀茂神社は雷(いかづち)の御神威により、厄を払いあらゆる災難を除き給う厄除(やくよけ)として信仰されてきた歴史があり、桓武天皇が都を奈良から長岡京、そして平安京へ遷都して以来、皇城鎮護の神、鬼門の守り神、総地主の神として崇められ、今日も建築関係等の方除祈願が多くあります。そして、特に最近では明神・落雷除・電気産業の守護神として広く信仰されています。

さて、昔の人々は雷(かみなり)を、神の怒りであると考えていました。もちろん、私達は雷の正体は電気であることを知っています。そして、昔の人が考えていたことが、滑稽に見えることがあるかも知れません。しかし、果たしてそうでしょうか? 科学とは「自然法則」そのものなのです。昔の人々は神や仏への信仰を通じて「自然法則」を知り、自然と関わってきたのです。自然と人間の関係が切り離せないように、神仏と人間、そして科学と人間の関係もまた、永遠に続くテーマであり、過度な自然破壊が時として大災害をもたらすのは、今も昔も変わりません。それは「神」という名の自然摂理(⇒科学)が、思い上がった人間に与えた罰なのです。最後にアインシュタインは「宗教と科学は、最後には一致するであろう」という言葉を残しています。この言葉の意味を、いま一度考えようではありませんか。

担当: 森亮資 立命館大学大学院、社会学研究科博士課程所属。宮下研究室(科学技術・メディア技術史)専門は科学技術史。



## 芦屋ユネスコ協会総会

今年も下記の要領で2006年度総会を開催いたします。是非ご出席下さい。

総会日時：2005年6月30日(金) 17:30～

場所：芦屋市民センター 301号室

記念講演(総会終了後、18:20～)

講師：鈴木博信氏(すずき はくしん)

桃山学院大学教授(国際政治、ロシア論)

会員交流懇親会(講演終了後、19:30～、多目的ホールにて)

※会員の皆様には後日ご案内の往復葉書を送付いたしますので、出欠を記載の上返信葉書を必ずご投函下さい。恐れ入りますがご欠席の方は、返信葉書の委任状に必ず署名捺印下さいますようお願い致します。(事務局・交流部会)

## 第28回 阪神間ユネスコ協会連絡会合同事業

1.日時 平成18年6月23日(金) 14時～16時(受付 13時30分)

2.会場 三田市まちづくり協働センター 6階 多目的ホール (JR三田駅前)

3.出演者 桂宗助氏(落語)《桂米朝一門》兵庫県尼崎市出身

遠藤和美氏(フルート奏者) 三田市在住

4.対象 各ユネスコ協会会員及び一般市民

5.参加費 無料

6.主催 阪神間ユネスコ協会連絡会

(尼崎、芦屋、伊丹、川西、神戸、宝塚、西宮、三田各ユネスコ協会)

7.後援 芦屋市、尼崎市、伊丹市、川西市、神戸市、宝塚市、西宮市、三田市の各教育委員会、及び芦屋市、尼崎市、伊丹市、川西市、神戸市、三田市



芦屋市・芦屋市教育委員会主催、兵庫県教育委員会後援

## 会下山遺跡発掘50周年記念事業

「会下山から邪馬台国へ ー高地性集落の謎と激動の弥生社会ー」

日時：平成18年6月25日(日)13:30～16:00 (記念講演、歴史フォーラム)

会場：芦屋ルナ・ホール(市民センター) 参加無料

《特別展示ー会下山遺跡出土資料他》

日時：平成18年6月22日(木)～7月8日(土)

会場：市民センター3階公民館ギャラリー 入場無料

※問合せ先：生涯学習課文化財担当(0797-31-9066) Email: info@city.ashiya.hyogo.jp

## 《書き損じ葉書回収ご協力へのお礼》

- ☆芦屋大学附属高等学校・中学校 生徒会
- ☆芦屋市立宮川小学校、朝日ヶ丘小学校、山手小学校
- ☆芦屋市立精道中学校、潮見中学校
- ☆芦屋市役所／芦屋市教育委員会
- ☆芦屋ロータリークラブ
- ☆芦屋ユネスコ協会 会員多数

※今回の回収総数は1,009枚でした。

ご協力戴きました上記の皆様方ありがとうございました。 <事業部会>

大好評!

## 《芦屋ユネスコ協会主催世界遺産セミナー》。

去る4月21日(金)18:00～、芦屋市民センター301号室において、芦屋ユネスコ協会主催の世界遺産セミナーを開催いたしました。『スペインの世界遺産と生活』というテーマで芦屋市在住のフランシスコ・マルティン・ディアス氏によって行われ、スペインに有る38もの遺産の中から「アルタミラの洞窟」に焦点を当て、人類初といわれる洞窟壁画について、ビデオも織り交ぜながら、詳しくご紹介いただきました。今回は参加者35名(内10名がゲスト)という集まりで、レジュメや各種ユネスコ関係資料と共にお茶とお菓子をいただきながら、和やかな時間を過ごすことが出来ました。

今後も恒例のセミナーに加え、こういった日本在住の方々のご協力を得て、世界遺産セミナーを継続していきたいと思っております。恒例、海技大学校生による世界遺産セミナーは秋の開催を予定しておりますので、奮ってご参加下さい。 <育成部会>

## 《芦屋国際交流協会からのお願い》

### 1. フィリピンスクールプロジェクトボランティア募集

国際協力に関心を持つ人をフィリピン共和国に派遣し、現地の小学校で子供たちと交流することによって、国際協力の必要性と、ボランティア精神を育みます。

期 間:2006年8月19日(土)～27日(日)

場 所:フィリピン共和国ルソン島パンパンガ州アンヘルズ市内の小学校

内 容:小学校でのリコーダーの指導及び文化交流

参加費用:158,000円

主 催:芦屋市国際交流協会(ACA)

### 2. ソプラノリコーダー・文具の寄贈

ご家庭で使わなくなったリコーダーがあればACAにご寄贈下さい。フィリピンの小学校に直接届けます。また、不要になった新しい文具(筆記用具、折り紙、絵の具等)があればご寄贈願います。ただし、持参するのでノートなどの重いものは除かせていただきます。

※詳細については、ACA(Tel:0797-34-6340)にお問合せ下さい。

## 部会報告とお知らせ

2006年度最初のAU通信ですが、実際の事業計画に関しましては、来る6月30日の総会において予算などと共に検討され、承認を得ることとなりますので、次号の掲載となります。今期総会は役員の変更もありますので、是非お出掛けくださいますよう、重ねてお願い申し上げます。

### 事業部会

- ◇ 書き損じ葉書の回収を行っています。ご協力をお願いいたします。
- ◇ 平和の鐘を鳴らそう運動を今年も8月15日に行います。奮ってご参加下さい。
- ◇ ご提案、ご意見、部会員を募集しています。

### 交流部会

- ◇ 年間を通じて、会員の交流を原則として活動しています。
- ◇ 2005年度は6月の総会と懇親会、12月の講演会&親睦会を担当しております。
- ◇ 4月行事として今回も1面に掲載した世界文化遺産の見学バスツアーを企画・運営しました。

### 育成部会

- ◇ 2003年度より開始した芦屋市立図書館友の会に賛助して子供たちに向けて、ユネスコについてのお話及びビデオ鑑賞を継続して行っています。
- ◇ 毎年秋に世界遺産セミナーを実施しています。今期は春(4月21日)にも実施しました。
- ◇ 今期兵庫県で開催される「第38回ユネスコ子どもキャンプ」のお手伝いをさせていただきます。

主催：社団法人日本ユネスコ協会連盟、兵庫県ユネスコ連絡協議会、神戸ユネスコ協会  
日時：2006年8月7日(月)～8月9日(水)  
場所：兵庫県三田市・伊丹野外活動センター  
参加対象：小学校3年生から中学校3年生までの少年少女 ※詳細はお問合せ下さい。

## 協調連携団体からのお知らせ

### レディス・セミナーハウス

- 毎月第3火曜日 11時～13時半、芦屋ラポルテ本館3階山村サロンにて、レディス・セミナーハウスを開催しております。昼食は大阪の老舗「花外楼」の特別美味しいお弁当が戴けます。
- ビジター参加が可能ですのでご希望の方はセミナーの5日前までに事務局にご連絡下さい。  
(参加費：10,000円、昼食代を含みます、男女を問いません)
- 入会ご希望の方は事務局にお問い合わせください。(事務局：三宮 Tel:38-2091 Fax:38-2089)
- 報告：3月例会 「香は聞く」 蜂谷宗玄氏(はちやそうげん) 志野流二十世家元  
4月例会 演奏とトーク かとうかなこ氏 クロマチック・アコーディオン奏者
- 予告：5月例会 「ココ・シャネルの生涯と20世紀ファッション」  
実川元子氏(じつかわもとこ) 翻訳家/ライター(主著書、主訳書多数)

## 事務局連絡

<会員現況> (4月28日現在)

特別会員 16名	維持会員 33名	普通会員 130名	
学生会員 2名	団体会員 2団体	<b>合計会員数 181名+2団体</b>	

<お願い>

◇下記振込先に2006年度会費納入をよろしく願います。(5/26までに)

《会費・寄付振込先》  
 三井住友銀行 芦屋駅前支店 普通口座 口座 No.3901693  
 口座名義: 芦屋ユネスコ協会 会長 広瀬忠子  
 ※手渡し納入ご希望の方は、最寄りの役員にお渡し下さい。

◇会員区分をご参考に資金面でのご協力も重ねて願います。

### 年会費の会員区分

申込会員区分			年会費	
通常会員	A	普通会員		3,000円
資金面でご協力いただける会員	B	維持会員		5,000円
	C	特別会員	1口	10,000円
学生の方	D	学生会員		2,000円
賛助会員	E	団体会員	1口	20,000円

◇芦屋ユネスコ協会の会員でいてくださることに感謝しております。

会員の役目 (①は出来る限り、②③④にも出来るだけご協力を！)

- ①会員を毎年更新する。(年会費がユネスコ活動の原動力になります。)
- ②会の催し物に参加する。(会員同士の親睦や平和的交流・も大きな目的です。)
- ③会の活動に参加する。(積極的なご協力により会が活性化します。)(随時受付中)
  - ・寄付金(事務局又は役員にお届けください)
  - ・書き損じ・未使用葉書(事務局又は役員にお届けください)
  - ・新入会員勧誘活動(事務局又は役員にご連絡ください)
- ④会の活動に企画・運営の立場で参加する。(随時受付中)
  - ・中心的に参加する。(委員会活動など。事務局又は役員にお申出下さい)
  - ・準備などのお手伝いをする。(活動スタッフなど。事務局又は役員にお申出下さい)

編集後記：今回より紙を新しいものに替えたことと、印刷場所を替えたことに加え、編集スタッフが1名増えて、2名体制になりました。今後のAU通信にご期待下さい。勿論、まだまだ新しい編集スタッフ募集中です。お待ちしております！